先生方・保護者・地域の皆さまへ
ありがとうございました。

はまだっ子共育推進事業

共育だより

～1学期の地域学校協働活動のとりくみ～

「自ら考え、自ら判断、決定し、自ら行動する」　　一中校区コディネーター　R6・7月

●放課後あそび隊

授業でのボランティア学習（1 年生）
自発的なボランティア参加（全3回のべ22人）

総合的な学習の時間にあそび隊のボランティア学習を行いました。今年は石見小・三階小・松原小の 3 校の低学年と交流することができました。当日は計画を実践するだけでなく、小学生の気持ちを大事にしながら臨機応変に関わる姿が見られました。多くの生徒が達成感、自己有用感を感じたことと思います。月曜日の放課後のあそび隊にも沢山の一中生が参加してくださいました。2 学期もよろしくお願いします。

●赤ちゃん・お母さんと触れ合おう（2 年生）

乳幼児と接する機会の少ない中学生が実際に赤ちゃんと触れ合うことで、多くの学びがありました。

生徒の感想：「子育ての疲れを子育てで癒やす」という言葉が心に残りました。/自分は保育士を目ざしているのでこの授業はとってもよかったです。/時々目があったり、手を握ってちょっと噛んでみたり、とってもかわいかったです。別れるのが名残り惜しかったです。/自分親にたくさん助けてもらって、成長できたんだと思いました。
お母さんの感想：この授業を通じて妊娠出産子育てを振り返ることができ、あらためてこの子の母親でよかったと思いました。/だっこに挑戦してくれてよかったです。

●朝の読み聞かせ（全 13 クラス　第2金曜日）

ボランティアの方に朝の読み聞かせにご協力いただいています。現在、保護者さんやシニア世代の方含めボランティア登録は 16 名。その内男性が 3 名。

今学期最後の読み聞かせの後は、校長先生とボランティアさんで親睦会兼振り返りの時をもちました。

「くすっと笑えるようなほっとした時間にしたい。」「読むだけでなく、中学生との対話も楽しみにしている。」「絵本でなく朗読をしています。」「夏なので平和をテーマに。」など、皆さんそれぞれが読み聞かせへの思いを語られました。

朝の貴重な時間を感謝です！
2 学期もどうぞよろしくお願いたします！

●ジョブカフェ・県大生による探求のお話
●職場体験の事前学習等　（3 年生）

今年度は職場体験を夏休み中に実施することとなり、それに先立ち市内10の企業や教育機関によるジョブカフェや中高大と地域活動や探求的な学習、そして長期インターシップに熱心に取り組んできた県立大学生 2 年生の三代愛華さんにご自身の経験を話していただきました。

ジョブカフ参加企業等：
門田産業・さんびる・石原製作所・島根電工・ホットケアステーション・石見ケーブルビジョン・セントラルスポーツ・河野建設・浜田高校・浜田市幼児教育センター

中学生のうちに大切にほしいこと三代さんから：地域イベント・ボランティアに積極的に参加する。友だちとの繋がりも大切にする他。

今年は、職場体験受け入れ先の調整を共育CNと評議員の方にも協力いただいてすすめてきました。地域の皆さまのおかげで生徒全員の体験先約60箇所を確保できました。生徒達の探求的な学び、そしてキャリア形成につながることを願っています。

連絡先：石見まちづくりセンター　電話・FAX（兼）22―138　（担当　共育コーディネーター　栗栖）